

汐留・日本テレビタワーと麹町のスタジオを統合ネットワーク化。
多拠点の一元監視が可能な先進の調光システムにリニューアル。

日本テレビ放送網
Kスタジオ

リニューアル

調光システム納入レポート 〈スタジオ〉

●専用スタジオ調光操作卓 ●インテリジェント調光装置 ●EMIT-AX ●パッケージ型昇降装置-RAKUDA(小型タイプ)



■概要

施工/日本テレビ放送網株式会社 様
名称/日本テレビ放送網 Kスタジオ
所在地/東京都千代田区
照明設備工事/緑屋電気株式会社 様
パナソニック電気エンジニアリング
竣工/2009年7月

■施設概要

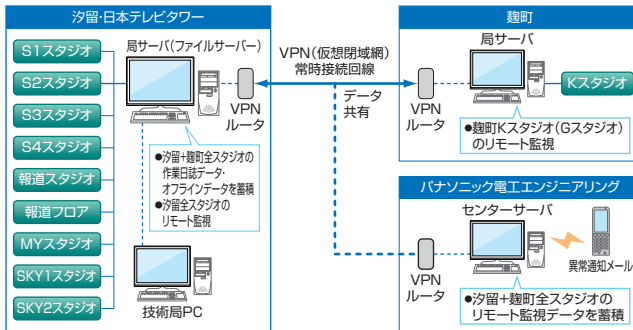
約167坪

■納入機器

専用スタジオ調光操作卓
インテリジェント調光装置
EMIT-AX
パッケージ型昇降装置「RAKUDA」(小型タイプ)
スタジオ照明器具

日本テレビ放送網様が汐留・日本テレビタワーに本社移転後も、観客入れや出演者が多いバラエティトーク番組などの収録に使用されている麹町のKスタジオ。HD化更新のリニューアルに伴い、スタジオ照明システムの再構築が行われました。これまで複数配線が必要だったDMX配線から、Ethernetケーブル1本の配線で調光システムのネットワークを構築できるEther/DMX変換装置「EMIT-AX」が採用されたことで、スタジオ調光操作卓から、調光装置、昇降装置、ワイヤレスリモコン等がネットワーク化され、番組制作の効率化、作業の安全性向上を実現。さらに、VPN(仮想閉域網)技術により汐留と麹町のネットワークを統合し、作業日誌データやオフラインデータ、リモート監視データ等を双方で共有できるようになりました。条件が限られるリニューアルでも先進の操作環境を実現し、安全性と効率化を高める調光システムとして高い評価をいただいています。

2拠点の各スタジオを調光ネットワークで接続し、各スタジオの様々なデータの共有と一括監視を実現



制御部と負荷部をEthernetケーブル1本で接続 Ether/DMX変換装置「EMIT-AX」

- 1台あたりDMX×2系統(1024チャンネル)のDMXを制御。
- 前面パネルのボタンで8系統までのDMX入出力系統を自由に選択。
- イーサネットエラー、温度等の監視が可能(設備監視システムが必要)

安全性と簡便性を追求した新発想の昇降システム パッケージ型昇降装置「RAKUDA」(小型タイプ)

- 減速機、モータ、ドラム制御部などを一体化。
- 駆動部分のカバーで駆動部が露出しない安全設計。
- パッケージ化により設置時の工期短縮を実現。
- 軽量ナイロン滑車、静音型ブレーキ付モータ等を採用した静音設計。
- 設備監視システムでの監視が可能。
- 天井が低いなど省スペースにも設置可能な小型・軽量タイプ



日本テレビ放送網 Kスタジオ

■調光装置(インテリジェント調光装置)

主幹盤	照明電源 3φ4W 182V/105V 50Hz 入力主幹 MCCB 4P 1800AF/1600AT
調光回路	IL100V 40A ×280回路 IL100V 40A ×72回路(他ノ調切換) IL100V 100A ×34回路
直回路	100V MCCB 2P 50AF/50AT ×14回路

■専用スタジオ調光操作卓

チャンネル数	シーン毎に200
ホリゾンタル軸	10本
サフマスタフェーダ	20本
クロスフェーダ	2軸(P1、P2)
記憶シーン数	200シーン
再生シーナ数	500 ×2軸(P1、P2)
外部DMX出力数	最大512ch ×3系統
外部DMX入力	120ch
外部通信ポート	Ethernetポート ×1
表示装置	カラー液晶ディスプレイ ×2台
バックアップ方式	CPU二重化デュアルランニング方式

■周辺機器

ワイヤレス装置	照明用モバイル操作器 ×1台 昇降用ワイヤレス操作パソコン ×1台 アクセスポイント ×2カ所(照明昇降専用)
---------	---